

「甲佐町に住み続ける幸せ」 を感じるまちづくり

町民の皆様、明けましておめでとうございませう。

皆様には、輝かしい新年を健やかに迎えのことと心からお喜びを申し上げます。すとも平素からの町政全般にわたる温かいご支援とご協力に対して厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の流行語大賞は「3密」という言葉でした。言うまでもなく新型コロナウイルスの感染拡大を受けての表現ですが、まさに国内外の経済は大打撃を受け、行政機関だけでなく医療機関や介護施設においても大変緊張する場面の多い一年でありました。

全国的にも飲食業や観光業をはじめとした多くの業種において厳しい経営を強いられるところですが、本町においては、国の「地方創生臨時交付金」などを活用しつつ、できる限りの支援を行いながらこの苦難の時代を共に乗り切っていきたくと考えております。

また、アスリートのみならず国民皆が期待していた2020東京オリンピック・パラリンピックでありましたが、結果として一年延期され、今年の7月に大会が開催されることとなりました。

これまで東日本大震災などの大災害か

らの復興と銘打って準備されてきた大会ではありましたが、加えて「コロナに打ち勝った大会」として是非とも成功するよう祈念するものです。

県内に目を移すと、熊本地震から4年が経過し各自自治体の復興も順調に進んでいた中、7月には球磨川流域の市町村を中心に洪水などによる甚大な災害が発生し、多くの尊い人命が失われました。謹んで哀悼の意を表するとともに被災された皆様方に対して改めて心からのお見舞いを申し上げます。

本町としても被災直後から芦北町・球磨村を中心に町職員のべ184人が避難所運営や被害認定調査などの災害派遣業務にあたらせていただきましたが、被災地の一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。

こうした事例を目の当たりにするとき「国土強靱化」の言葉が浮かんでまいります。本町においても一級河川「緑川」を抱え、治水事業の重要性は十分理解しております。莫大な経費と時間を要することにも事実です。そういった中で、このたび新たなハザードマップも作成いたしました。日ごろから緊急時の備えとして活用

いただければ幸いです。

一方、明るい話題もあつた年でした。本町の地方創生事業の一環として着手した「西村民俗資料館」と「井戸江キャンプ場」の改修工事が完了し、旧西村邸は古民家レストランと宿泊施設からなる交流拠点施設として、キャンプ場は「COMMON IDEE」の愛称で親しまれるグラウンディング施設として生まれ変わりました。管理運営に携わっていたのは、兼ねて古民家再生ホテルを運営される町民の方々であります。若者目線での運営に期待は大きく膨らみます。

また2年後には、緑川リバーサイドパーク（熊本甲佐総合運動公園）も完成します。今後、この甲佐町がメディアなどでも大きく取り上げられ、町の活力を



甲佐町長 奥名 克美

町民の皆様が感じていただけるよう、まちづくりの基本計画である「第7次甲佐町総合計画」に沿って更に努力してまいります。そして、この甲佐町に住み続ける幸せを震災以上に感じ取っていただくような復興を成し遂げるためにも、町民の皆様との絆と町外の多くの方からの支援に感謝しながら、引き続き「ワンチーム」で職員一丸となり、また使命感をもって諸施策の実現に全力を尽くす覚悟です。

終わりに、町民の皆様、また議会の皆様には、本年も変わらぬご指導とご支援の程をよろしくお願い申し上げます。一年となることを祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

開かれた議会 を目指して

甲佐町議会 議長

宮川 安明

町民の皆様、明けましておめでとうございます。
令和3年の年頭にあたり、甲佐町議会を代表し、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、新たな期待と希望をもって、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から町議会に対しまして温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は熊本地震、豪雨災害からの復興へと明るい話題が見られる中、新型コロナウイルス感染症により生活様式が一変し、経済への影響は計り知れず、その収束は見通せない状況であります。

町議会といたしましても、人口減少や超高齢社会を迎え、さまざまな課題も出てきている中、新型コロナウイルス感染



症による生活への影響緩和政策など町民の方々が安心で、幸せな日々をお過ごしただけですよう、一層の努力を重ねて参る所存でございます。

本町の基幹産業である農業や商工業の産業振興、緑川を活かした観光振興など地域経済の振興政策や子育て支援、教育の充実による甲佐の魅力を活かした定住政策など、より一層推し進める必要があると考えております。

町民の皆様の声に耳を傾け、町民の皆様のご代表であることを強く自覚し、日々研さんに努め、開かれた議会づくりを目指してまいります。

今後とも、ご指導とご支援をよろしくお願いいたします。

町民の皆様にとりまして、実り多き年であり、ご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

新しい教育の時代へ

甲佐町教育長

蔵田 勇治

明けまして、おめでとうございます。

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。日頃から学校教育、社会教育、体育・スポーツ活動、芸術文化の振興ならびに文化財保護などの本町教育行政に温かいご理解とご支援、ご協力を頂いております。ことに衷心より感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、想像もしなかった新型コロナウイルス感染症パンデミックにより、世界的規模で社会生活や経済などに大きな影響が生じました。本町においても小中学校が3月2日から5月31日まで臨時休業を余儀なくされました。学校再開後も、前年度中の未履修科目ならびに新学年の学習内容の確実な修学・習得のために、授業時間の確保と指導の工夫が迫られ、学校行事の大胆な見

直しなど、学校経営の工夫と改革に取り組んで参りました。

「パンデミック後の世界は以前と同じには戻らない」と言われます。コロナ禍による不安や混乱の日々はまだまだ続いています。教育界は英知を結集し、アフター・コロナの教育を機能的で合理的な教育システムに改善する好機と捉え、「ソサエティ5.0」を強く賢く生きていく子どもを育てる教育改革に取り組んで行かねばなりません。本町では「学力県下トップ構想」の下、児童生徒一人1台のPC整備などICT教育の充実をはじめとした教育改革に取り組み、地域とともに学校運営をすすめるコミュニティ・スクールとして各小中学校の教育の充実に取り組んで行く所存です。

今後とも、町民の皆様との協働による文教の町・甲佐の教育づくりに、深いご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

